

THE
KANSAI
UNIVERSITY
NEWS

関西大学通信

関西大学広報委員会
大阪府吹田市山手町3丁目



人物埴輪 (茨城県那珂郡東海村出土)

関西大学考古学資料展

網干善教

関西大学で所蔵する考古学・民俗学資料は、名誉教授永永雅雄先生の御尽力と、大学当局の御協力によって、旧本館ロゼンシュンを購入したものと、それ以後蒐集した資料とがあり、現在大学院棟四階に展示されている。

これらの資料は単に数量が多いというだけでなく、先史時代から歴史時代に至るほか、世界各地の資料を多く含んでいる。

また、重要文化財指定の遺物、あるいは旧重要美術品指定の資料もあって、学術研究上からも、貴重なものといえる。そのうち、人物埴輪の一点を紹介したい。

この埴輪は、購入資料であるが、茨城県那珂郡東海村出土の埴輪で、頭部のみであるが、大きさは三・六センチである。

頭部に被るのは埴輪付首(じょうかくづきかぶ)である。古墳時代の首は、の形式の首と埴輪付首(あはらしきかぶ)の二形式に大別できるが、この埴輪にみられる埴輪付首は横柄留という手法を示している。横柄留(よこがしら)の手法とは、細長い鉄板を横に刺しているもので、円形の浮文をはりつけて、鉄を用いて留めた様相を表現している。この埴輪にみられる首には下端に線(し)がついていて、あわわである。

古墳時代の実用首は、出土遺物の資料にある。しかし実際に着装している状況はこうした埴輪によって知るべきである。

つきに、この埴輪の人物の顔に三角形の着色がみられる。

目のあたりから、眼のところを通り、頬にいたるところに三角形の形を左右対称に描いている。着色は赤色顔料、恐らく第二酸化鉄(ベンガラ)を用いているものと思われるが、何故このようなものが描かれているか不明である。古代において、こうした顔面に着色をするような風習があったことを示すものかも知れない。

頭部には玉を連れた頭飾をつけている。古代における装身具の着装を具体的に示す資料である。

古墳に用いられた埴輪には喜びや悲しみなどを表現するすべれたものがある。それについて思うことは、画面や口は粘土でつくった顔面を、また柔いうちに、窪(へら)で孔をあけて表現する。それが実によく人間の感情を表現している。こうした点、埴輪は考古学や民俗学研究の重要な資料であると同時に、芸術性をもつものと考えられる。

この埴輪は、非常に写実的に表現しているものと思う。わが国における埴輪資料のなかでも秀作の一つにあげることができようであろう。

本学で所蔵するこの種の埴輪資料として、このほか数点の人物埴輪がある。埼玉県北埼玉郡や埼玉郡のほか、出土地不詳なものもあるが、いずれも関東地方出土の人物埴輪と思われる。そのなかの頭に立鼓状の被物を着した人物埴輪は、その姿勢の端麗さにおいて、屈指のものと評価される。

関西大学考古資料のうち、学会で特に著名なものに大阪府藤井寺市国府遺跡出土の縄文時代から弥生時代にかけての遺物がある。これらのうち特に重要な資料は重要文化財に指定されているが、なかでも爪形文のある縄文前期の深鉢形や人骨に着装されたまま出土した袂状耳飾(けつじょうみみかざり)は貴重な資料である。

袂状耳飾とは、中国の「珥」に形が似ていることから命名されたもので、わが国では縄文時代の装身具として出土する。本学で所蔵する遺物は、大正六年十月に本山彦一氏らによって発掘調査された藤井寺出土のもので、これによって使用法が実証されたという学史的な意味もある。

また、江戸時代の元治元年六月十一日、奈良県天理市渡谷から出土した石枕も重要文化財に指定されている。現在わが国では百点以上の石枕が出土しているが、そのなかでも石材、形状共に最もすべれた遺物である。

その他、四参院市から出土した銅鏡二個がある。この銅鏡は鏡高四・三センチのもの三・五センチのもので、鏡身には鏡銘「大正十一年」が表わされている。わが国における青銅器文化、とりわけ銅鏡の研究上、欠くことのできない資料となっている。

岡山県笠岡市にある津雲貝塚で出土した人骨の腕に装着されていた貝輪、岐阜県北上市東木遺跡出土の土器、本学で発掘調査した兵庫県川西市加茂遺跡の弥生式土器や大阪府藤井寺市北山古墳出土の勾玉、管玉、銅鏡、さらには福岡県糸島郡出土の縄文文のある鹿角装力装具をはじめ、各地出土の車輪石、石剣、鉄形石、琴柱形石製(こじがたせきせい)の心、金銅装力剣の外装具、金銅装の馬具、奈良県明日香村葦原(あしはら)の古墳出土の夾纈棺(きょうさくくわん)の破片など古墳時代の遺物、また山口県下関市長府、京都府木津町から出土した和同開珎の銭(せん)は心などがある。

これらの資料は単に珍しいものを蒐集し、陳列するのではなく、考古学研究的資料として、また博物館実習の教材として、教育・研究のために有効に利用されるものである。こうした意味から、『考古学資料図鑑』も刊行し、また、毎月第三十曜日の午後、学内の諸氏のために陳列室の公開を行っている。是非見学されることを期待している。(文学部教授)



ロンドンには約六〇の博物館や美術館がある。その中のひとつ、コールド・イン・スティテュート・ギャラリーは、一九三一年に開設されたロンドン大学付属美術館で、S・コートールド氏収集の考古学や民俗学資料と絵画のコレクションを展示している。一九五八年に一般公開された同館は、大英博物館や国立美術館と異なり、入場者も少なく、一時間もあればゆっくりと鑑賞できる程の広さである。一九七三年の春に英国留学の機会を手に入れた筆者は、柄になく同館をしばしば訪れ、フランス印象派の絵画に風情の生活の疲れを感じただけでなく、セザンヌ、モネ、ルノアールの絵葉書を買求め、故国へ近況を書き送ったものである。▼わが関西大学にも、誇るべき考古学資料室のあるとは本号で紹介されている通りである。立派な解説書『考古学資料図鑑』と「ローマングラス小皿」「高杯」「石枕」などの美しい絵葉書も、非売品ではあるが、すでに刊行されている。また資料陳列室は、欧米の大学の付属博物館に見受けられる一般公開ではないけれども、学内で定期的に公開されている。▼大学の社会に対する働きかけは、いまだ行の公開講座の開催だけに限らない。元来、文化財は国民共有の財産である。さらに、私立大学が多額の国庫助成を得ている今日、その見返りという意味でも、大学所有の文化的諸資料を一般公開すべき時機にきているのではなかろうか。▼他方、折角作成した「図鑑」や絵葉書を死蔵しておく方はない。せめて絵葉書なりと学内の適当な所で頒布すれば、それを利用する者も増えていこう。郵政省のお先棒を担ぐつもりは毛頭ないが、「心のコミュニケーション」よりは手紙です。(一・K)

学校法人
関西大学

昭和
編成
工事、
………
年度の

資金収支計算書

1954年度の予算

整備の必要性と資金計画との関連
において算化する。

設備は、現行のものを利用し、
増設は、機織機等の補助設備費
の増額は、万全を期して、新規
需要の研究に充て、新規
需要の研究に充て、新規
需要の研究に充て、新規

① 前年度収入は、五十五年度の
新入生が、入学の際に納入する
学費で、一五四四、六〇万円を
見込む。②その他の収入は、一八
四、三三〇万円であり、前年度前
年度予算は、

昭和五十四
年度の予算
は、

加の新しい
費、建物修繕
費、

常務理事 今井康兼

二〇〇〇万円の減少である。これは日本私学連関財団、支払借入金金利、入学金の減少によるのである。③借入金等の減少は、五億六、〇〇〇万円、一、三〇〇万円の減額は、まして前年度との差額幅の減少である。

④附属係金は、一〇億六、四四七万四千五百七十九円、前年度より、その主たるは、第四ラウンドの仕上り、高校校舎の増築（第二期工事）、庶務部資料の増築、校内施設の整備等である。⑤設備関係金は、四億二〇〇万円、教育研究用の機械設備、器具備品、圖書等の購入費である。前年度の一四、一七〇万円減額したのは、昨年は特別に圖書及び経済・政経研究所に振替預金を認許する予算計上されていたためである。

⑥資産運用金は、一四億八、七〇〇万円、これは振替預金と現金、前年度の減額は、東京商工建築費、校務研究資金等の資金を引当指定管理、繰入るために支出するのである。

⑦その他の支出は、五億一〇〇万円で、奨学金、住居資金等の貸付金、前年度の支払金、還却費、得税等の税金、通勤手当及び出張旅費等の前払金との支出である。⑧手数料は前年度と同額一億五千万円である。

⑨資金出払調整金は、一億六、二〇〇万円、当該年分は、

15.	貨	借	料	7,761	7,578	183
16.	租	稅	公	3,681	3,479	202
17.	諸	會	費	8,262	7,702	560
18.	支	弘	手	14,417	9,970	4,447
19.	交	辦	費	13,000	12,000	1,000
20.	會	議	費	28,650	24,850	3,800
21.	雜		費	9,570	8,584	986
4.	借	入	金	128,733	136,083	△ 7,350
				108,733	106,083	△ 2,650

5. 資產總分類額	7,980	9,957	△1,977
1. 固定資產總分類額	7,980	9,957	△1,977
2. 流動資產總分類額	0	0	0
6. 徵收不能列當金錄入額	0	0	0
7. 子 費	70,000	70,000	0
消費支出部合計	11,955.97	10,472.122	723.475
當年度消費支出超過額	908,280	261,436	646,844
前年度繰越消費支出超過額	386,359	124,923	261,436
翌年度繰越消費支出超過額	1,294,639	386,359	908,280

消費收支計算書

[illegible]

大学院工学研究科長 新保正樹

している諸君の積極的な協力を
をお願いいたします。

(戒田・山本)